



共生の時代

'08
8月

●発行:グリーンコープ共同体的理事会 ●編集:共生の時代・編集部 ●〒812-8561 福岡市博多区博多駅中央街8番36号博多ビル7階 TEL092(481)7923 FAX092(481)7876

グリーンコープ20周年・三瀬プラネットジャムに協賛

7月5～6日・佐賀市三瀬村



フードマイレージについて話す
吉田さんと藤田さん



民衆交易(ネグロス)バナナの話をする
ATJの幕田さん



会場に配られたバナナに
「おいしい!」と声があがる



食パンを例にして輸入小麦のフードマイ
レージクイズに挑戦



パレスチナオリーブオイルや東ティモールの口ロサエ
コーヒーで民衆交易の説明

グリーンコープは、20周年記念事業の一つとして、佐賀市どんぐり村で行われた三瀬プラネットジャムに協賛しました。

三瀬プラネットジャムは「環境」をテーマにした野外音楽ライブイベントです。ステージなどで使われる電力は太陽光発電や風力によるグリーン電力を使い照明も控えめにしました。コンサートに参加する人は温室効果ガスの発生を抑えるため、マイカーではなく往復バスツアーで参加していただきます。くず米で作ったごみ袋を配りこみの分別を徹底するなど若い人たちに環境問題を考えてもらう企画でした。

グリーンコープの取り組みが環境保全型であること

野外ライブではアーティストのステージの間にエコに取り組みグループの紹介などが行われました。グリーンコープ共同代表吉田文子さんは、地元で採れた赤米のおにぎりを例にアーティストの「いきものがかり」と国産品や地場のものを食べる意義を語りあい「フードマイレージ」について大田守る会の藤田会長が解説しました。また、「フェアラートレード」の話もATJの幕田恵美子さんが会場の参加者に語りかけました。二日間をとおして、どんぐり村を訪れた多くの人たちにグリーンコープを伝えることができました。

4000人に
グリーンコープを
熱くアピール

Contents

グリーンコープを創った人たち(5) グリーンコープ連合第三代会長 大隈 和子	
たおやかに 組合員として生き抜いて…	2
人と自然に大切なものは? 再処理工場を検証する	3
グリーンコープ地域運動交流集会 グリーンコープという畑を 共に耕していきましょう	4・5
メーカー・生産者からのメッセージ(5) 矢野畜産 生産者と組合員を結ぶ安心・安全の立役者 食材の加工・流通に生きる	6
2008年度 自生GMナタネ調査報告会 グリーンコープがめざす生活協同組合⑤	7
組合員・ワーカーズ・職員リレーメッセージ 未来へつなぐ20年 私の思い	8

20年の歴史を創った原点に戻る



グリーンコープ連合
第三代会長 大隈 和子



収縮を続ける世界経済、環境破壊の激化など、グリーンコープが20年前に予想したとおりの時代を迎えている。グリーンコープはそれに備えて準備を怠らなかったとは言え、厳しい事態であることに変わりはない。

大隈和子が第三代会長として在任した1996年からの8年間は、初代会長武田桂二郎、二代会長清藤シゲ子が耕した大地に花々が次々と開花する、グリーンコープのベルエポックであったように思われる。

たおやかに組合員として

生き抜いて...

1 1996年6月、大隈はグリーンコープ連合第三代会長に就任した。第二代会長の清藤から「今のあなたのままで、この役目を担ってほしい。みんなであなただを支えるから」と励まされた。昨日のことのようだ。

通常どこの世界でも会長職といえばピラミッドの頂点である。しかしグリーンコープは結成当初から、権力という縦構造を連帯という水平構造へどれだけ柔らかに倒置できるか、日々格闘してきた。もとより清藤の「一人の母親のままで」の意とするところは汲み取れた。しかし、それがご自分振りに向けられた時、「そのままの自分」とは一体どのような自分なのだろうかと考え込んだ。自問を繰り返した結果、大隈は「見る前に跳ぶ」ことに決めた。就任した第四期通常総会ではこう挨拶した。「一般的な男社会の概念の中で、これだけ大きな組織の会長が普通の組合員だということを感じたい姿として、みなさんと一緒に跳びたいと思います」。

そして大隈は約27万人になつていったグリーンコープ組織の頂点に勢いよく跳びこんだ。47歳の夏の初めだった。

めぐりあわせを生きる

大隈と生協とのかわりには1986年にはじまる。結婚後、長男、二男、長女の三子をもうけ、末子の長女が保育園にあがった頃だ。70年代、多くの市民生協が誕生した背景には深刻な食品公害があり、大隈もわが子に成分無調整の牛乳を飲ませてやりたいと思つたのだ。それが加入の動機であつたが、当時生協に加入するということはそのまま、地区委員会の立ち上げや、仲間づくりなど活動の最先端を走ることにほばイコールだった。



2003年10月18日 びん牛乳専用工場の起動式。
びん牛乳の誕生に立ちあつた

大隈にはそれも楽しかった。活動の折々に出会う人はみな魅力的で刺激たつぷりだった。生協は思いがけず開けた瑞々しい新世界だった。

忙しく駆け回っているうちに、やがて大隈は共生社生協あらたま(現グリーンコープ生協)くまもとの前身生協の一つの理事長になり、生協の地方形成がすすむ中で、合併生協の理事長となる。そのままグリーンコープの会員生協の一つとして連合理事会に参加するうち第三代会長人事の話が持ちあがつた。

大隈は述懐する。「何に

ついても言えることだけ、検討の場に居あわせるということは、その検討の結果についても責任を持つて引き受けるということだ」と。大隈の、これが「生き方の原則」である。単協の理事長もグリーンコープの会長人事も、たまたま交代の時期にその検討の場に自分がいたという「めぐりあわせ」に過ぎない。しかし、その場で皆で討議したことはおおむね一番良い結果だと信じるし、それに責任を持たねばと考える。

会長職と自身の相克を越えて

会長在任中グリーンコープは食への運動の象徴とも言える「びん牛乳」を生み出し、福祉連帯基金の設立からその発展の解散までを見届けた。グリーンコープは地域へ大きな足がかりを掴んだ。また、環境ホルモンの問題や遺伝子組み換え作物問題へは即刻対応し、志を同じくする組織・団体と共に運動の先頭に立った。中期計画基本構想「夢ヲかたち」を一つひとつ実現させていくグリーンコープの充実期を大隈は縦横に駆け抜けた。

2004年、大隈は自分の役目が終わる時期を見定め退任。その挨拶の中で次のように述べた。「私は組合員の感性を持ち続けるといふことは山ほどある。この仕事も、めぐりあわせだった。会長退任後、立ちあげから検討したその施設に、「生き方の原則」に従って、大隈はそのまま腰を落ち着けたのだ。

もうしばらくはここで頑張つてみようと思つている。

大隈は現在荒尾市にあるグリーンコープのデザイナー「ゆるりの家」の管理者を務める。来所者の送迎がある朝8時前には家を出て、ほぼ丸一日をそこで忙しく過ごす。「お年寄りと一緒に毎日を過ごしていて実感するけど、技術つてさほど問題じゃない。ただ誠実に手抜きせず、人生の先輩に向きあえばいいんだって思う。先輩から学ぶことは山ほどある」。この仕事も、めぐりあわせだった。会長退任後、立ちあげから検討したその施設に、「生き方の原則」に従って、大隈はそのまま腰を落

人と自然に大切なものは？

再処理工場を検証する



六ヶ所再処理工場に反対し、放射能汚染を阻止する全国ネットワーク運動

6月12日、「六ヶ所再処理工場に反対し、放射能汚染を阻止する全国ネットワーク」(以下、阻止ネット)が主催する3回目の院内集会在、参議院議員会館で開かれました。今集会は、読売新聞東京本社論説委員の井川陽次郎さんを招き、六ヶ所再処理工場推進の立場の話を聞いた上で、反対派としての論点を鮮明にすることを目的としました。

総理大臣の問責決議などが上程された国会会期中にもかかわらず、川田龍平(無所属)議員をはじめ民主党からは、下田敦子・大島九州男・大河原雅子・小宮山洋子各議員、社民党からは福島瑞穂議員、議員秘書12人、阻止ネットからの参加者を含め80人で会場はいっぱいとなりました。

六ヶ所再処理工場推進派というより必要派

井川さんからは、「再処理は必要と思う」というテーマで話がありました。・エネルギーがないと困る、とくに電気エネルギーは必要不可欠。そのために原子力が必要だ。・エネルギー資源の有効利用として、原子力発電所からの使用済み核燃料の再処理、高速増殖炉もんじゅの実用化は、他のエネルギー資源と比較してコストも安価、安定性もある。・再処理工場で放出する放射能は、クリプトン85・炭素14・トリチウム。いずれも自然界に存在し、体内に取り込まれても新陳代謝な



講師の井川陽次郎さん



熱のこもった意見交換がされました

どで排出される。放出しても海洋や大気中に拡散され心配はない。・指摘されている活断層は、日本原燃の調査では見つけられていない。仮に直下で地震があっても耐震性が十分確保されている。・現在、本格稼働のための最終の試験段階。高レベル放射性廃棄物処分のためのガラス固化に問題がある。それについては十分な結果が得られるようにするべき。・どんなものにも完璧はない、できる限りの対策を立て、不測の事態にも対処できるゆとりもあり、再処理施設は安全といえる

再処理工場はなぜ六ヶ所村に？熱い意見交換

各議員(川田・下田・大島・福島)から次のような意見が出されました。・六ヶ所に再処理工場建設の話があった当時、地元から「なぜ六ヶ所村なのか」「なぜ東京ではないのか」の質問が出された。その時の説明は、人口密度が希薄で、事故があっても小事に終わるといふもの。東京で

青森の空に響け！「止めよう再処理」



2008年6月7・8日、青森市・青い海公園にて「止めよう再処理！全国集会」(止めよう再処理！全国実行委員主催)が開催されました。核燃料サイクル阻止1万人訴訟原告団・青森県反核実行委員会、核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会など取り組みに連帯する全国の団体が現地に一堂に会し、参加した約2000人(内グリーンコープ15人)が「再処理NO!」を高らかに宣言しました。



集会では、吉田共同体代表理事が「阻止ネット」を代表して「全国の消費者・母親たちは青森県のみならず作るおいしい農産物や海産物を放射能に汚染させるようなことはしたくないと思います。阻止ネットの『六ヶ所再処理工場の本格稼働に反対し、その中止を求める』署名活動に90万筆が集まりました。連帯して運動を広げていきましょう」と挨拶しました。

現在、六ヶ所再処理工場は、アクティブ試験の最終段階でのガラス固化の失敗から本格稼働が13回目の延期となっています。施設近くの活断層も心配されています。集会終了後、会場の参加者は青森市内をデモ行進し、六ヶ所再処理工場計画の撤廃を強く訴えました。

は被害が甚大になるといふことだった。・浜岡原発も活断層の問題から、原発の新耐震指針に基づいて増改築を行った。六ヶ所再処理工場も新指針に基づいて検討が行われるまでは本格稼働はすべきではない。・原発は放射能を外に漏らさない建物の構造になっているが、六ヶ所再処理工場では海洋や空気中に放出される構造になっていることが大きな問題。・再処理工場は通常の原発の1年分の放射能を1日で放出すると言われている。環境や自然界に影響を与えないはずはない。次世代やその次の世代に、大きなリスクを負わせてしまう。・放射能の人体や自然界への影響は未知の部分もある

る。しかも、チェルノブイリのような事故があれば、甚大な被害が人や環境に及ぶ、予防原則の上に立つて考えるべき。井川さんからの主な応答は、以下のとおりです。・再処理工場の立地として、自分や東京都知事は東京にあってもいいと言っている。・新耐震指針は細かい点の改定、旧耐震指針でも大きな問題については対応しており、安全性に問題はない。・リスクはあるが、それを恐れて取り組みを中止すれば、産業界や国民生活へのマイナスは大きい

最も大切にされるべきは、安全性

英幸さんが意見を述べました。・放出されている放射能(クリプトン85、炭素14、トリチウム)は、フランスやイギリスの再処理工場の付近でも、風の条件などで濃度が部分的に高いところが出てきている。自然界は考えているより複雑に動く。・日本原燃は放出放射能の総量規制をしているだけ。原発と同条件で濃度規制をするなら、放射能の濃度を希釈するためには、甲子園球場の何十倍の水が必要だ。また、放出している放射能は自然界に存在する量より高くならないという指摘だが、実際に増えているのが分かっている。クリプトンは高い濃度が検出されているところもある

・活断層については今後の論議。しかし、全ての活断層が発見されているわけではない

大切なのは生活者の視点

「子どもたちの未来に禍根を残さないために、六ヶ所再処理工場の問題を真剣に考える。経済効率よりくらしの安全を最優先する」が阻止ネットの基本的な考え方です。

今回の院内集会は、推進する立場からの話を聞き、反対する立場としての論点を鮮明にすることができたと言えます。

※旧耐震指針(1981年策定)では、直下型でマグニチュード6.5を想定していた。しかし、それを越える地震があったことから、活断層の調査基準の拡大や施設の内容に応じて耐震強度のレベルが修正された。耐震性は新潟県中越沖地震後に見直された

二耕していきましょう

グリーンコープの組合員とワーカーが出会う地域運動交流集会が2008年7月9日福岡市で開催されました。2005年からはじまった集会は今年で4回目となります。さまざまな業種のワーカーズと単協の組合員約700人が一堂に会し、それぞれの活動報告に熱心に耳を傾けました。

ワーカーズと組合員の交流も年々すすんで、グリーンコープ運動は大きく一歩を踏み出しています。グリーンコープ運動を地域に根付かせていくためには、ワーカーズ活動の広がりや充実をめざすことが必要だということとを共有する場となりました。

基調報告



グリーンコープ共同体代表 吉田 文子さん

組合員とさまざまなワーカーズの交流を深めてきたこの集会は、当初、福祉ワーカーズをはじめとするグリーンコープの福祉の分野で開催されていましたが、年々、いろんな分野のワーカーズが集い、グリーンコープ運動が豊かに育つてきています。本日の集会でも異業種間の交流が生まれ、ワーカーズ連帯の大きな機会となるでしょう。

もしもグリーンコープ運動という畑があるならば、ワーカーズとグリーンコープは、共に「いのちが大切」という気持ちで、その畑を耕すかけがいのない仲間だと思えます。これまでは忙しくて隣の畑を耕している者同士、ゆつくりと顔を合わせた会話の機会が少なかったように思います。

互いの畑の労働の苦しみや喜び、実りを、別々の畑としてではなく、同じグリーンコープの畑として、どんどん入り込んでいける気持ちで見渡していきたいと思います。自分が楽しい、きもちがいい、やりがいがある、そんな活動や働きを発見し、広げる場になることを期待します。「共に汗をかき、笑いあえる」。そんな笑顔がいっぱいの集会にしましょう。

社会福祉法人グリーンコープ



社会福祉法人グリーンコープ副理事長 奥田 知志さん

抱きとめ、心から支える「ホーム」の設立

2002年は「ホームレス自立支援等に関する特別措置法」が施行され、国レベルの取り組みがはじまり、国全体では路上生活者は減少傾向にあります。しかし、福岡市は増加地域として全国一です。市内には1000人近い路上生活をしている人がいると思われ、多くの方が本人の責任で路上生活をしているか、思っているようですが、必要です。

社会福祉法人グリーンコープは、福岡市内にホームレス者の自立を支援する「無料・低額宿泊施設（第二種福祉事業）」の開設に取り組みます。自立支援センター「抱擁館福岡」は社会福祉法人グリーンコープとNPO法人北九州ホームレス支援機構との協働事業として9月の開設をめざしています。

抱きとめ、愛しむホーム。ホームレスが社会問題化したのは、社会全体の

単協からの報告

ふくおかは「地域組合員総会」について報告しました。組合員主権を貫くために実施された取り組みに76,677人（実出席3,515人）の組合員が出席し、地区、お店委員会の活動報告・方針などの検討決定の場に参画しました。また、各会場では生産者やメーカー、ワーカーズ、助成団体との出会いと交流を深めることができました。

ひょうご・おおさかは、関西地区で初めて開催された「商品交流会」について報告しました。組合員75人、メーカー27



地元メーカーとの交流（おおさか・ひょうご）



地域組合員総会（ふくおか）

おおいたは、全組合員対象に実施した「ふくし・くらしアンケート」について報告しました。グリーンコープですべての福祉の取り組みを組合員一人ひとりに伝えました。ふくし・くらし全般に関する組合員の声を集約し、おおいたとしての長期的なふくし・くらしの取り組みを策定していくことになっていきます。

パレスチナからの報告



パレスチナオリーブオイル生産者ワフファ・スレイマンさん

アトレッドによって、高品質のオリーブオイルを生産できるようになりました。

しかし、イスラエルの占領政策である入植地拡大によってパレスチナの農地が没収、オリーブの木が伐採され続けています。農地も分離壁で分断され、パレスチナ人は自分の農地へ行くこともできません。また水資源の大半が壁で遮られてし

組合員とワーカーズの交流活動報告

くまもとは地域福祉協議会の取り組みについて報告しました。組合員とワーカーズ、専従職員が出会い、福祉の抱える課題について共有し、意見を出しあう場が地域福祉協議会です。店舗ワーカーズや共同購入ワーカーズなどの代表や代理人も参加しており、組合員がワーカー体験できる場を作るなどの取り組みもすすめています。

やまぐちは2007年度グリーンコープ地域福祉交流会について報告しました。グリーンコープやまぐち生協と家事支援サービスワーカーズ連絡会、福祉活動組合員基金運用委員会の三者による共催で実施し、2年目です。150人の組合員が参加し、「出会い」から一歩すすんでお互いをもっと知り、分かちあうことを目的とした交流会としています。

（長崎）はワーカーズ対象の「つどい」（グリーンパーティ）の開催について報告しました。できるだけ多くのワーカーが参加できるように土曜日開催などの工夫をしています。グリーンパーティに参加したことをきっかけにグリーンコープに仲間入りするというケースも報告されました。

家計とくらしのワーカーズ円縁



らくらく家計簿クラブのようす

生活再生事業の一環である家計とくらしの応援活動を担うワーカーズです。家計管理、金銭管理教育、悪徳商法からの被害の予防など、組合員の経済生活、お金の面からの生き方をくらし方を支援します。

2008年5月に誕生、9人のメンバーで活動しています。現在、グリーンコープの自主サークル「らくらく家計簿クラブ」など組合員対象の学習会の講師を中心に活動をすすめています。オリジナル家計簿も準備できました。ワーカーを増やし、活動の場を大きく広げていきたいと思っています。

食品店舗ワーカーズ



グリーンコープでは9グループ、約500人の食品店舗のワーカーズが地域の組合員組織との連携を大切にしながら活動しています。

交流集会当日は、各地域の店舗ワーカーズが行って

いる商品の発注・入荷、棚おろしなどを紹介し、店舗の一日をアピールしました。店舗はグリーンコープ商品を取り扱うだけでなく、併設の会議室などが「つどい」やフリースペースに活用されるなど組合員の活動の場としても生かされています。店舗が地域にもっと身近になるように活動を続けます。

ふくおかでは2008年

2008年度グリーンコープ地域運動交流集会

グリーンコープという畑を共に

まとめ

福祉ワーカーズ連合会
理事長 江島 真弓さん

そうではないけれど、その原因は「仕事が減った」「倒産失業」「病気」「高齢で仕事ができない」などからです。しかも、再就職したくても住所がない、面接のための準備もできないのが現状です。北九州市には自立支援施設があり、就労自立率70%、生活保護等利用を含めると90%以上が自立しています。福岡市にもホームレス状態にある人々が自立支援できる施設が

98年ころからです。同時に自殺者が3万人を越えました。自己責任という表現もその頃から多用されるようになりまし

た。路上生活をしている人も努力しなくてはならないが、同時に社会も変わらなくてはなりません。必要なことは助けあえる地域社会を作ることです。

現在、社会には二つの貧困があります。ワーキ

「抱樸館福岡」は傷つき、苦しんでいる人を抱き、苦しんで生きる人を見出し生活の自立をめざす場としたいと考えています。ホームを失ったあらゆる人に「ここにホームがある。ここに抱樸館がある」と呼びかけたいと思います。

すべてのワーカーズが連帯し、つながり合うために大きく一つに結集しましょう

今集会でのさまざまな趣向を凝らした報告はどれもすばらしく、さらにグリーンコープから発した地域運動が大きく広がっていることに胸がいっぱいです。

今回はパレスチナからの参加があり、オリブオイル生産者の報告を聞くこともできました。グリーンコープの「共生の理念」とりわけ「南と北の共生」について考える機会となりました。

十分な報告の時間が取れませんでした。社会福祉法人グリーンコープは今年3月に名称変更。単協の経営委員会も組織され、格段に内実が整ってきました。事業の一つとして、現在ホームレス自立支援センター「抱樸館」(福岡)建設に尽力しています。建設地の住民への理解を得るため

の話しあいをぜひいねいにすすめているところです。ホームレス問題への取り組みは、グリーンコープ運動を広げいくための重要なキーワードの一つになると思っています。また、社会福祉法人グリーンコープは、地域で活躍するすべてのワーカーズの事業を包摂すると共に皆になりたいと考えています。

ワーカーズ運動とは、おもしろく、やりがいがあり、達成感を感じることができま

す。しかし、それだけではなく、主体強化もしていく必要があります。それがワーカーズ運動の発展と推進には欠かせません。さまざまな異業種のワーカーズがつながりあうためのワーカーズ連合会の設立を呼びかけます。

「地域に必要なものを自分たちで創っていく」「現状に甘んじず組合員主権を貫いている」など、どこを切り口にしても、グリーンコープはほんとに魅力的です。そんなグリーンコープのワーカーズ運動がとどまることなく、広がっていくことが私の願いでもあります。

みんなで力を合わせて、10年後も20年後も出合える場にしていきましょう。

福祉ワーカーズ

デイサービス、在宅福祉ワーカーズ、ふくし情報でんわ、福祉用品店舗、食事・小規模多機能ワーカーズ



在宅で自立した生活ができるように...

グリーンコープの福祉ワーカーズは「地域に必要なものをかたちに」し、62グループ、約2,500人のワーカーが活動しています。ふくし情報でんわは12単協で実施、高齢者の福祉、子育てや障がい者に関してなどさまざまな相談にできるだけ幅広く、情報を集めて、ご相談者によりそいながら、選択肢が広がるように心がけて案内しています。

福祉生活用品店舗は6カ所あり、福祉用品を実際に手に取って見ることができま

す。来店した人といっしょに必要なとする用品をみつけた時は喜びを感じます。

食事サービスワーカーズは8グループが年間20万食、グリーンコープの安心・安全な食材で手作りのお弁当を提供し、喜ばれています。

また、利用者の笑顔と「ありがとう」の言葉にいつも励まされています。

在宅福祉ワーカーズは27グループ、2,000人のワーカーが従事、年間43,000件、576,000時間の支援をしています。家事一般から介護、介助まで、利用者の希望に添えられるように、24時間365日のケアの実施をめざしながら頑張っています。

デイサービスは22カ所、5,300人の利用があります。利用者お一人おひとりが楽しく一日を過ごしていただけるように心くばりをしていきます。また、訪問サービスを利用し、デイサービスに通って、お泊りもできる小規模多機能型ホームも開設、その運営をしています。

子育てサポートワーカーズ



楽しい手遊びに会場は盛りあがった

子育てサポートワーカーズは生協の組合員活動時の託児や個人依頼の託児、幼稚園の送り迎えなど地域の子育てを応援しています。2007年度は21グループが年間41,200時間活動しました。2008年度から子育てサポートワーカーズ連絡会をスタートさせ、子どもたちが楽しく、おかあさんたちには安心できるように学習・研修を行っています。

集会当日はワーカーの元気な歌をリードに、参加者一同が3歳児になつて手遊びパフォーマンズで身体を動かし、童心に帰りました。また、各地のワーカーズが手作りの紹介パネルを掲げ、会場にアピールしました。

共同購入ワーカーズ

共同購入ワーカーズはグリーンコープの各地域で20グループ、約600人のワーカーが活動し、組合員と生協のパイプ役として、共同購入商品の配達とキープの受け渡し業務を担っています。

集会では各地域の共同購入の配達ワーカーズが、配達の日常の業務のようすを報告し、それぞれの活動で心がけていることについてアピールしました。



朝礼のよ

4月、県内21店舗8つのグループが合併し、一つの企業組合を設立しました。今後は連帯の内実を豊かにしていくことになります。

代理人ネットワーク運動

ふくおかネットワーク

福岡では、6つの自治体で10人の代理人が議員として活動しています。代理人運動は政治を生活の場に引き寄せ、暮らしを豊かにし、「住んでいるまちを住みたいまちにしていこう」ことを目的に活動しています。介護保険の問題や学校給食、ごみの問題、緑化の推進、税金の使われ方など、生活者の視点を大切にした政策提案を行っています。

もうすぐ、宗像市、北九州市、那珂川町の選挙があります。力強く運動を広げ、議員を送り出していきます。

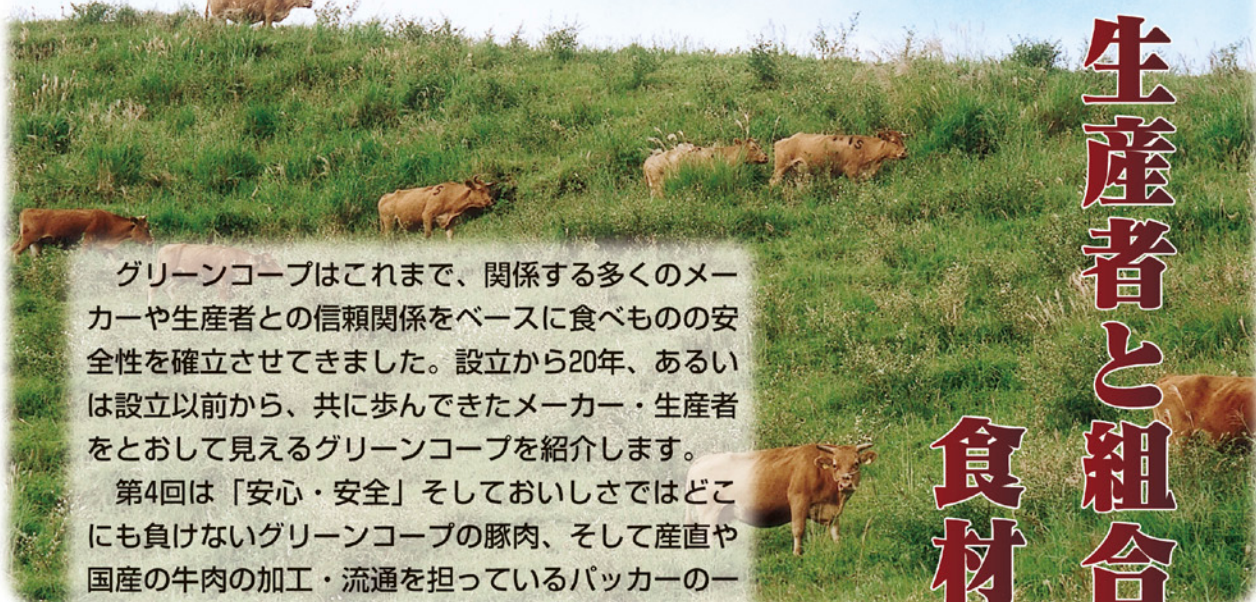
くまもとネットワーク

1994年から代理人運動に取り組み、現在2つの自治体で2人の代理人が活動しています。「遺伝子組み換えナタネの自生・交配の防止に関する請願」は2市で採択。ネットワーク会員の拡大に力を入れていきます。

共に歩んだ20年



矢野畜産

グリーンコープ共同体・グリーンコープ
連合総会であいさつする矢野悦生さん

グリーンコープはこれまで、関係する多くのメーカーや生産者との信頼関係をベースに食べものの安全性を確立させてきました。設立から20年、あるいは設立以前から、共に歩んできたメーカー・生産者をとおして見えるグリーンコープを紹介します。

第4回は「安心・安全」そしておいしさではどこにも負けないグリーンコープの豚肉、そして産直や国産の牛肉の加工・流通を担っているパッカーの一つ、「矢野畜産」を紹介します。代表取締役・矢野悦生さんに話を聞きました。

生産者と組合員を結ぶ安心・安全の立役者 食材の加工・流通に生きる

遡ること35年。京都の大学に通っていた矢野さんは休みにになると実家に帰り家業を手伝っていた。そこで熊本大学生協に集う学生らと出会った。当時はまだ安心・安全という主張はなく、ただ商品を共同で購入するというのが一般的。その時の豚肉の価格が枝肉で1kgあたり900円。当時は牛肉よりも高く、一般では考えられない価格だった。一貫生産された豚肉、しかもそれを一頭丸ごと産直で供給するという並外れた企画に驚いたという。リスクは相当なものだった。豚肉は6つの部位に分かれている。その供給バランスによる販売リスクがあるのは当然で、それを1頭買収することのメリットを組合員に伝えて買ってもらわなければならないのだ。その企画は成功した。綾豚会がはじまった。産直といっても、それは餌や飼料にこだわっているのではなく、「誰が作っているかが分かる」というものだった。

いち早く安心・安全な豚肉の供給がはじまる

矢野さんは大学卒業後、家業を継ぐために自社に入社。共生社と本格的に関係することになっていく。その頃出会ったのが、綾豚会という宮崎県綾町で養豚を営む若き生産者たちだった。「養豚業を開拓する若

い生産者、そして消費者側に立つて商品のよさを追求する生協。その間に立つて加工・流通を担当する役割をするのが私たちの仕事」。その時の豚肉の価格が枝肉で1kgあたり900円。当時は牛肉よりも高く、一般では考えられない価格だった。一貫生産された豚肉、しかもそれを一頭丸ごと産直で供給するという並外れた企画に驚いたという。リスクは相当なものだった。豚肉は6つの部位に分かれている。その供給バランスによる販売リスクがあるのは当然で、それを1頭買収することのメリットを組合員に伝えて買ってもらわなければならないのだ。その企画は成功した。綾豚会がはじまった。産直といっても、それは餌や飼料にこだわっているのではなく、「誰が作っているかが分かる」というものだった。

20年前、共生社とちくれんが一つになって、グリーンコープ連合が誕生した。しかし、二つの生協では精肉の取り扱い形態に大きな違いがあった。共生社は冷凍で流通。一方、ちくれんは冷蔵（フレッシュ）での取り扱いだった。一つの生協となったことに伴い、1995年に精肉の供給形態を統一させることになる。いわゆる「肉のフレッシュ化」という、グリーンコープ連合としての大きな改革だった。矢野畜産にとって初めて生での加工・流通を手掛けることになったのだ。そのために1994年に生肉専用の加工工場を建設し



グリーンコープかごしま生協の「豚肉枝肉学習会」で見事な包丁捌きで豚肉の解体作業をする矢野畜産の山村さん

た。さらに、生で流通させるには冷蔵技術に加え、より締まった肉質への改善が求められたという。そのためには豚の食べる餌を変え、必要があった。養豚生産者と相談。試行錯誤の結果、綾豚会で独自の飼育方法を確立させた。それによって「肉のフレッシュ化」を成功させることができた。

もう一つの試練

BSE問題を乗り越える

2001年に世界を震撼させたBSE問題が起った。畜産の世界に突きつけられた問題でもあった。矢野畜産においても、いままでの常識や考え方を大きく転換することになった。

日本でのBSE発生はその問題の対象外であったグリーンコープの精肉にも影響を与え、瞬間的に供給は3割減少したのだ。グリーンコープはBSEに対し、「食」の根幹を揺るがす問題であるとして即座に組織として取り組みを展開。そればかりか、いち早く牛肉の個体履歴が遡れるシステムをつくった。その後、メーカー・生産者と共に「グリーンコープ生産・製造認証システム」を確立。安心・安全をより強固なものにしていった。そのようなグリーンコープの姿勢に、取引メーカーとしてさらに信頼を深めていくことになる。

食料危機。揺らぐ「食」。

その中で生き続ける

原油の高騰、それに伴う穀物などの食糧不足が世界を襲っている。生産現場は想像を絶する厳しさの中にある。「これまで消費者の求める安心や効率ばかりが重視され、それが日本の経済をつくってきたのです。グリーンコープさんはそうではなかった。何事にも誠実に向きあってくれました」。20年間グリーンコープと共に歩んできた矢野畜産。「グリーンコープと取り引きすることが社会的なステータスになっている。グリーンコープへの信頼は揺らぐことはないでしょう」。そう明言する。

本紙7月号11面「メーカー・生産者からのメッセージ」の記事に誤りがありました。お詫びして訂正します。
(誤) 100g 900円
(正) 枝肉1kg 900円



2008年度自生GMナタネ調査報告会

2005年春からスタートした、GM(遺伝子組み換え)ナタネ汚染調査活動は今年で4年目になります。2008年は11単協で取り組み、グリーンコープエリア内275地点で調査を実施。GMナタネ汚染が確実に広がっていることを確認しました。

6月23日に行われた報告会には各単協から組合員112人が参加しました。

吉田文子グリーンコープ共同代表理事から「2008年度は単協主体で調査を行いました。GM汚染の現状を共有化しましょう」と挨拶がありました。その後、各単協の調査報告がありました。今回陽性反応が出たのはおおいた1カ所(バスタ)、くまもと1カ所(ラウンドアップ)、ふくおか19カ所(ラウンドアップ15・バスタ4)、やまぐち3カ所(ラウンドアップ1・バスタ2)です。

おおいたは同じ調査地点で2006年度は陽性、2007年度は陰性、そして2008年度はまた陽性と意外な調査結果が出たことに驚いたと感想がありました。早速、県へ結果を報告し、行政へ積極的な働きかけを開始しました。

くまもとは2007年度八代市での陽性反応を受け、県や各市町村へGMナタネの自生・交雑の防止を求める請願書・要望書を提出。結果、八代市・合志市で採択されました。2008年度は熊本市内で陽性が出ています。

やまぐちは、輸入ナタネの水揚げ港や製油工場などない山口県で陽性が出たことについて、GM作物に対して市民が、監視活動を行うこと、正しい情報を得ること、行政へ訴え続けること、これらの重要性を改めて理解し、今後の活動に生かしていくことを確認していました。

※バスタはバイエル社、ラウンドアップはモンサント社の除草剤

報告

チェルノブイリ支援募金にご協力ありがとうございました

- 参加した組合員数 510人
- 募金総額 2,053,338円

募金は「NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク」とおして、被災者支援のために役立てられます。主には日本の医療専門家を含めた検診団の派遣費用や医療機器などの購入に使われます。

甲状腺がんなどの深刻な影響を受けた子どもたちが結婚年齢になったことで、次世代への影響などの不安が増えています。被災者は今もなお苦しみ続けており、まだまだ支援が必要です。グリーンコープはこれからも支援していきます。

ミャンマー・中国四川被害救援金にご協力ありがとうございました

- 募金総額(店舗カンパも含む)
- ミャンマー・サイクロン被害救援金 18,756,854円
- 中国四川大地震被害救援金 12,787,290円

募金は各単協ごとに日本赤十字社、日本ユニセフ、AMDAなどに送られ、被災者救援、現地での医療活動などに役立てられます。

グリーンコープがめざす

生活協同組合



グリーンコープ誕生前夜1

グリーンコープの前身生協は概ね1970年前後に誕生しています。戦後まもなく設立した幾つかの職域生協(労働組合を母体)と70年代に誕生してきた市民を母体とする「班共同購入」型地域生協でした。

当時の時代背景は、水俣病に代表される産業公害、森永ヒ素ミルク事件・カネミ油症事件に代表される食品公害、それに加えて防腐・殺菌・着色などに用いられる各種食品添加物の氾濫が社会問題となっていました。市民、主に主婦が母体となっていた地域生協は当然「安心・安全な食べもの」を求め、その食べものを生み出す「環境」に強い関心と問題意識を持っていました。

現在、グリーンコープは「せっけん派」生協を標榜しています。それは、この時期グリーンコープの前身生協が、合成洗剤の取り扱い等をめぐって、日本生協連合と袖を分かちことになった大きな選択をしたからです。それはその後の運動の路線を決定する岐路ともなりました。

命のはかなさを見つめて

言・い・た・い

投稿欄

グリーンコープ誕生20年によせて

「自然に溶けこんで生きている人は感動的に美しい」。共生の時代5月号に載った兼重正次さんの手帳の最後のメモの一文を私は涙なしには読めませんでした。

約9年前に、長年の体調不良がシクハウス症候群ではないかと感じ、医師の診断も受けられぬまま、放置された人工物のない森へ、逃げ込むように通いはじめました。

病いのことを人に話すと、グリーンコープやまぐち生協を勧められすぐ加入しました。ほどなく誕生したグリーンコープの福祉ワーカーズさんにもずっと助けられていました。

私は長時間森にいても多量ですが、それでもなお、森に入っていくのは、自分の死を見つめる経験があったからでした。「沈黙

グリーンコープやまぐち生協

松本 祐子

新テーマで募集中

- グリーンコープ誕生20年によせて
- 私の好きなグリーンコープ商品

- 400字程度 ●メー 毎月末
- 住所・氏名・年齢・TEL・所属生協名を明記して郵送またはFAX、Eメールでお送りください。掲載分には図書カード(500円分)進呈。
- 住所・氏名などの組合員の個人情報は、本紙に掲載の場合のみ使用します。

〒812-8561
福岡市博多区博多駅中央街8-36 博多ビル7F
グリーンコープコミュニケーションワーカーズ連(REN)
「共生の時代」編集部 宛
FAX 092-481-7876
Eメールアドレス rikoho@greencoop.or.jp

2008年6月の組合員数 395223人 (6/26現在)

リユース リサイクル データ 2008年5月分

牛乳びん	リユースびん	トレー	モウルドバック
回収本数 924,408本 回収率 100%	今月のデータ掲載はありません	回収重量 13,705kg 回収率 60.8%	回収重量 37,830kg 回収率 89.2%

放射能汚染測定結果報告(178) 2008年5月

放射能汚染食品測定室検査。NDは、検出限界値(1ベクレル/kg)以下です。
※は、グリーンコープ連合取り扱い商品です。

	検体名	産地	セシウム134	セシウム137	合計ベクレル/kg
※	産直びん牛乳ノンホモ	(原乳)熊本県	ND	ND	ND
※	純正ごま油	ミャンマー、タンザニア、パキスタン	ND	ND	ND
※	なたね油	オーストラリア、ヨーロッパ	ND	ND	ND

グリーンコープ

組合員
ワーカーズ
職
リレーメッセージ

未来へつなぐ20年 私の思い

グリーンコープの20年という歴史の中を、多くの
人、多くのコトが駆け抜けていきました。その一つ
とつがグリーンコープの中に刻まれ、グリーンコープ
の成熟へとつながってきています。この一年間、さま
ざまな人とおしてグリーンコープの歴史をひもと
いていきます。

グリーンコープ誕生20周年を記念して、組合員・ワー
カーズ・職員からのリレーメッセージを掲載します。



グリーンコープへ20周年記
念への思いを込めて、グリー
ンコープと共に育った娘との
会話を紹介します。

「えっ？ もう20年も経つ
の？」

「そうよ、小学生だったあ
なたたちが二人とも結婚し
て、子どもがいるのだから」

「母の白髪が増えるはず
ね」

「あなたもいい母親になっ
たよ」

「安全で安心できるものを
食べさせたいという想いで加
入したけど、そのためには、
まず環境が大切ということ
を学んだわ。もちろん平和や日
本の農業を守るといことも
ね。そしていろんな出会いも
あったの」

「出会いと言えば、私、高
校3年生の時にネグロスに
行ったんだ。その時のメンバ
ーとは時々連絡を取ってるよ」
「そう、いろんな人との
縁は大事にしくちや」

グリーンコープ20周年に寄せて

グリーンコープ生協おいた 元理事長 千綾 陽子

「今は遠くに住んでいてグ
リーンコープの商品が手に入
らないけど、食べものを選ぶ
時には、まず安全第一にして
るわ」

「結構、グリーンコープの商
品を小包で送ってるけど……」

「ありがとうございます。
本当はね、一番欲しいのは牛
乳なのよね」

「そうね、あのすばらしい
びん牛乳がどこでも手に入
ればいいのにねえ。しかも、
あの値段だものネ」

「早く、金沢にグリーンコー
プができなかなあ。お手
伝いは何でもするよ」

「お母さんが会議で福岡に
行く時、『鍵をかけて学校に
行くのはいいやだ』と言ってい
た子がすっかり大人になった
ね」

「老後はグリーンコープの
福祉サービスを利用するにし
ても、何かとお世話になるわ
ね。これからもよろしく！」
「グリーンコープのますます
の発展を願って乾杯！」

子育てワーカーズなかよし
の立ち上げから8年、代表と
してかかわっています。とて
も楽しい。考えてみれば、こ
の楽しいは20年前、26歳でグ
リーンコープの組合員になっ
てからずっと続いています。

組合員になってすぐに地区
委員になりました。当時、生
協の託児に子どもを預けて活
動する2〜3時間は開放感
と、食べもののことや福祉の
ことなど吸収できる知識でも
のすごい充実感がありました。

委員会終了後、子どもたちを
迎えに行く、なんだかとつ
ても愛しくなりました。大き
くなってから聞くと、子ども
たちも「生協の託児は楽しかつ
た」と言います。グリーンコー
プで自分も育ち、子どもも
育ったと思います。この恩返

私でも人の役に立つことができる！ グリーンコープが教えてくれた

グリーンコープ生協おいた 子育て支援サービスワーカーズなかよし
代表 小野 泰子



しをしたい、それが子育てワー
カーズにつながりました。
最近、個人のお宅に伺っ
ての託児も多く、とてもかく預
かる子どもが可愛くてたまり
ません。自分の子どもか孫の
ようです。子育てに大変な思
いをしていらっしゃるのとい
ろに伺うこともあり、明るく
なっていくようすが自分のこ
このようにうれしい上に、ご
家族から感謝されることもあ
ります。自分が人の役に立
てるなんて、思ってもみません
でした。グリーンコープにか
かるまでは自分に自信があ
りませんでした。活動をし
ていくにつれ、自信を持つこ
とができるようになったと思
います。

この20年、食べもの運動か
ら、高齢者福祉、子育て応援、
生活再生事業などグリーンコ
ープはぐんぐん、私たちの暮
らし全般を支える事業と運動
を広げてきています。その展
開が面白い興味があります。
自分たちも託児所のよう
なものをしたいなと夢が
膨らみます。

グリーンコープがあるか
ら、自分の3人の娘たちの暮
らしも安心できます。それ
は、グリーンコープは信頼で
きる人たちによって、まっす
ぐ正直に事業と運動をしてい
るからです。そのグリーンコ
ープに自分もかわり、役割の
一つを持っていることが大き
な充実感です。

グリーンコープは私にとつ
て、これからもずっと面白
く、頼りがいのあるものとし
てあり続けるでしょう！

グリーンコープ生協ながさきと合
併、今のグリーンコープ生協（長
崎）が誕生します。

私は、グリーンコープ生協が誕
生する前は大学生協にいました
ので、共生社生協連合とちくれん
の当時の合流時のようすは必ずし



連帯の中で新たな一歩を

グリーンコープ生協（長崎）
専務理事 松本 弘信

990年のグリーンコープ生協さ
せぼの設立へとすすみます。19
89年には私も、大学生協を退職
しグリーンコープ生協させぼの設
立に参加、大学生協に在籍して5
年後には再び地域生協に戻ってい
ました。なお、グリーンコープ生
協させぼは、その後1995年に

も承知していませんが、同じ「せつ
けん派」生協連合でも、その「成
分」と「仕様」は相当に違ってい
たように感じていましたから、か
なり意外な思いでグリーンコープ
連合誕生の話聞いたことを憶え
ています。

グリーンコープ連合設立に携わ

グリーンコープ生協（長崎）は2009年、
設立30周年を迎えます。グリー
ンコープ連合の大きな連帯の輪に支
えられ成長してきた私たちも、今
グリーンコープ共同体の一つの主
体として新たな一歩を踏み出しは
じめています。

今年のグリー
ンコープ誕生
20周年に続
きグリーンコ

ことにつな
がっているだ
ろうと思いま
す。